

# 南魚沼版CCRC構想の展開における 北里大学保健衛生専門学院の関わりについて

学校法人北里研究所  
北里大学保健衛生専門学院  
事務長 樋口昌敏

2015/8/17



北里大学

Kitasato

保健衛生専門学院

Junior College of Health and Hygienic Sciences



学校法人

北里研究所  
THE KITASATO INSTITUTE

# Ⅰ はじめに

本学院は昭和57年4月の開校以来、30年以上にわたり**魚沼地方で高校新卒者を受け入れる唯一の高等教育機関**として、更に**医療従事者を養成し、地域の医療機関に人材を供給**することを通じて、**微力ながら地域社会の発展に貢献**してきました。現在は3学科1専攻科の体制であり、**在学生:約900名、教職員:約70名**の規模の事業体となっています。

平成20年9月には、南魚沼市との間で「**学校法人北里研究所と南魚沼市との連携協力に関する包括協定**」を締結し、**連携体制を強化**したところです。現在、南魚沼市と学校法人北里研究所の連携は**地域レベルに留まっています**が、**今後は法人全体を巻き込んだ連携の実現**に向けた取り組みを行う予定です。

**南魚沼版CCRC構想**に関しては、その主役である「**アクティブシニア**」の前提条件となる「**健康寿命の延伸**」に**貢献**することは本学院が養成する医療従事者、特に**管理栄養士、看護師・保健師**の使命でもあるため、この構想への積極的な関与は、**本学院の教育・研究の展開に効果をもたらす**ものであるとも考えております。この構想が展開されていく過程で本学院の存在価値を示し、**今まで以上に地域に根ざした高等教育機関となることを目指す**ものであります。

## II アクティブシニアの皆さんに本学院が提供できること、期待すること

南魚沼版CCRCについて、現段階でアクティブシニアの皆さんに本学院が

①提供できること、②期待することとして想定できる事項を以下に示します。

提供できること	期待すること
1 生涯教育に関すること	1 管理栄養科卒業研究の対象
(1) 図書館の開放	2 模擬患者等のボランティア
(2) 公開講座の開講	3 環境整備のボランティア
(3) 科目等履修生の受け入れ	4 サークル活動の指導
(4) 社会人入学	5 非常勤教員の委嘱
2 健康寿命の延伸に関すること	6 臨時職員等としての労働力
(1) 健康教室の開催	7 その他
(2) 北里栄養ケアセンター（仮称）の利用	※各項目の内容は次頁以降に簡単に記載しました。 ※本構想が進む中で、本学院に対する要望があれば、その実現に向けた検討を行います。
3 地域交流等に関すること	
(1) 魚沼祭（学園祭）での交流	
(2) 学生食堂の利用	
(3) 学院施設の貸し出し	
4 その他	

### Ⅲ 本学院がアクティブシニアに提供できること①

#### 1 生涯教育に関すること

##### (1) 図書館の開放

主に医療系の図書を所蔵（図書約21,000冊、雑誌96誌、文学書も一部所蔵）する**図書館**を利用することが可能。（開館時間/平日9:00～19:50, 土曜日9:00～16:00）

##### (2) 公開講座の開講

年間に数回実施している**公開講座の受講**が可能。

○過去の演題「健康食品との上手な付き合い方」「食品と免疫」等

##### (3) 科目等履修生の受け入れ

臨床検査技師、管理栄養士、保健師・看護師を教育する各科目のうち、基礎分野（科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解に関する科目等）、専門基礎分野（人体の構造と機能、食べ物と健康、社会・環境と健康に関する科目等）を中心に科目等履修生として、**アクティブシニアが興味を持つ科目を履修**することが可能。

##### (4) 社会人入学

稀な例ですが、60歳を超えてから**社会人入学**し、**国家試験**にも合格して資格を取得した例もあります。

# Ⅲ 本学院がアクティブシニアに**提供**できること②

## 2 健康寿命の延伸に関すること

### (1) 健康教室の開催

本学院管理栄養科教員（医師・管理栄養士等）による**健康教室に参加**することができます。

○平成27年度：Good Byeわがままボディ～打倒メタボ&ロコモ～  
（全6回、4か月にわたって開催）

### (2) 北里栄養ケアセンター（仮称）の利用

上記、健康教室を発展させた形での開設を計画している「**北里栄養ケアセンター（仮称）**」が開設された場合、その利用が可能です。

○北里栄養ケアセンター（仮称）の概要：

健康・栄養に関わる学術研究を深め、その成果を地域社会に還元するための相談室

【栄養ケアセンター（仮称）】は、地域の健康・食生活改善支援の拠点とし、

- ①食生活改善プログラムの提案
- ②生活習慣病予防と治療のための栄養相談
- ③栄養・料理教室などの開催
- ④健康・食生活情報の発信

などの取り組みを企画・実践する。

### Ⅲ 本学院がアクティブシニアに提供できること③

#### 3 地域交流等に関すること

##### (1) 魚沼祭（学園祭）での交流

毎年度10月下旬の土日開催している魚沼祭（学園祭）での学生・地域住民との交流していただくことができます。場合によってはプラチナタウンの皆様の企画を展開することも可能です。

##### (2) 学生食堂の利用

学生の福利厚生施設「北里ガーデン」の学生食堂、カフェを学生と同価格で利用いただくことができます。

##### (3) 学院施設の貸し出し

ご要望があれば、体育館、テニスコート、教室等の学院施設を貸し出すことができます。

#### 4 その他

構想が進む中で、本学院に対する要望があれば、その実現に向けた検討を行います。

## IV 本学院がアクティブシニアに**期待**すること①

### 1 管理栄養科卒業研究の対象

管理栄養科では、4年次に様々なテーマにより卒業研究を実施しており、公衆栄養学、栄養指導論などのテーマで高齢者を取り上げる学生もいるため、**卒業研究の対象**としてご協力いただくこと。

### 2 模擬患者等のボランティア

栄養補給法実習（管理栄養科）や公衆衛生看護学臨地実習（保健看護科）での**模擬患者のボランティア**としてご協力いただくこと。

### 3 環境整備のボランティア

毎年度（7月上旬）、学生が居住しているアパートの大家さんで組織しているアパート組合と学院の保護者組織（PPA）合同の環境整備を行っていただいております。主に学院の敷地（約5万坪）の草刈を実施し、終了後はBBQの懇親会も開催します。

地域交流の一環と位置付け、ボランティアとして参加いただくことも可能です。

## IV 本学院がアクティブシニアに期待すること②

### 4 サークル活動（特に文化系サークル）の指導

茶道、手話、吹奏楽等の指導経験のある方に学生の**クラブ活動をお手伝い**いただくこと。

### 5 非常勤教員の委嘱

大学、短期大学、専修学校、及び高等学校等での教育経験のある方で、本学院の開講科目をご担当いただける場合、本法人の**非常勤教員を委嘱**すること（特に基礎分野の科目）。

### 6 臨時職員等としての労働力

本学院の事業展開の中で、**臨時的に労働力が必要となった場合の臨時職員等での雇用による労働力を提供**いただくこと。

### 7 その他

構想が進む中で、本法人、及び本学院に対する提案があれば、喜んで検討させていただきます。